

2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月14日

上場会社名 コージンバイオ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 177A URL <http://kohjin-bio.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 孝人
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 (氏名) 平田 賢二 (TEL) 03-5784-2272
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	1,219	△1.8	131	△36.6	116	△48.4	82	△49.4
2025年3月期第1四半期	1,241	—	206	—	225	—	162	—

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 47百万円(△75.1%) 2025年3月期第1四半期 189百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	16.10	—
2025年3月期第1四半期	33.62	—

(注) 1. 当社は、2024年3月期第1四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年3月期第1四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第1四半期	9,166	5,706	62.3
2025年3月期	9,066	5,781	63.8

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 5,706百万円 2025年3月期 5,781百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	5,679	9.1	1,065	7.5	1,135	6.6	822	160.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2026年3月期1Q	5,111,600株	2025年3月期	5,111,600株
2026年3月期1Q	一株	2025年3月期	一株
2026年3月期1Q	5,111,600株	2025年3月期1Q	4,840,503株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述などについてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費の持ち直しやインバウンド需要の回復などが見られた一方で、物価高や金利上昇の影響から消費者心理の先行き不安が続いております。企業活動においては、設備投資の堅調な推移が見られたものの、円安の継続により、原材料価格は高水準で推移しており、依然として人手不足も課題となっております。

海外経済に目を向けると、米国では利下げ観測が強まる中、景気は緩やかな回復基調を維持しましたが、中国では不動産市場の低迷や消費の伸び悩みが経済成長の抑制要因となっており、欧州では地政学的リスクやエネルギー価格の変動が企業活動に影響を及ぼすなど、全体として先行き不透明な状況が続いております。

こうした経済環境のもと、再生医療業界は世界的に急速な成長を遂げており、特に幹細胞治療、遺伝子治療、組織工学などの分野で技術革新が進み、がん、糖尿病、神経疾患などの治療において研究開発が広がっています。日本市場においても、臨床試験の増加やiPS細胞技術の進展、企業間のM&Aが活発化するなど、市場拡大を後押ししています。

このような環境の中、当社グループは、研究開発体制の強化、製造プロセスの効率化などを進め、持続可能な成長基盤の構築に努めております。

当第1四半期連結累計期間におきましては、国内外での再生医療市場の拡大により、細胞培養用培地の売上高が増加いたしました。一方、新型コロナウイルスの新規感染者数が低位推移したことにより、関連製品の販売が伸びず、また、細胞加工においても、契約先医療機関からの受託件数が低迷したほか、細胞加工関連製品の販売も伸び悩みました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,219百万円（前年同期比1.8%の減少）となり、営業利益は131百万円（前年同期比36.6%の減少）、経常利益は116百万円（前年同期比48.4%の減少）、親会社株主に帰属する四半期純利益は82百万円（前年同期比49.4%の減少）となりました。

なお、各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

（組織培養事業）

当第1四半期連結累計期間における組織培養事業は、国内外で再生医療の研究開発や臨床試験が活発に実施されており、ここで使用される細胞培養用培地の販売数量が増加いたしました。特に中国をはじめとして、アジア圏での細胞治療の市場が拡大しており、同分野で使用される細胞培養用培地の需要が好調に推移いたしました。

これら再生医療市場の拡大を背景に、新規顧客からの注文が増加し、既存顧客からも新たな案件の受注が続いており、同事業は順調に推移いたしました。

この結果、売上高は622百万円（前年同期比7.8%の増加）、セグメント利益（営業利益）は235百万円（前年同期比20.2%の増加）となりました。

（微生物事業）

当第1四半期連結累計期間における微生物事業では、細菌検査用培地について、病院などの臨床分野および製薬企業などの産業分野において当該市場の拡大が限定的なこともあり、前年同期比でほぼ横ばいで推移いたしました。

また、新型コロナウイルス等の感染症に関しては、感染者数が低水準で推移したことから、同抗原検査キットの販売は期初の計画を大きく下回りました。

この結果、売上高は305百万円（前年同期比3.4%の減少）、セグメント損失（営業損失）は44百万円（前年同期は11百万円のセグメント利益）となりました。

（細胞加工事業）

当第1四半期連結累計期間における細胞加工事業では、前連結会計年度において販売を一時停止していた細胞加工関連製品について、2025年2月より販売を再開しましたが、販売休止期間中に市場環境が変化し、需要が減少した影響もあり、当該製品の売上は計画を大きく下回りました。

また、日本の医療サービスを目的としたインバウンドの外国人患者数は高水準を維持しているものの、細胞加工業者間の競争が激化していることから、細胞加工受託件数は計画を下回って推移いたしました。

この結果、売上高は291百万円（前年同期比16.3%の減少）、セグメント利益（営業利益）は75百万円（前年同期比41.4%の減少）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は4,978百万円となり、前連結会計年度末に比べ88百万円減少いたしました。これは主に、消費税及び受取配当金に係る未収入金の増加等によりその他流動資産が130百万円増加した一方で、現金及び預金が50百万円、売上債権の回収により受取手形及び売掛金が149百万円減少したことによるものであります。

固定資産は4,188百万円となり、前連結会計年度末に比べ188百万円増加いたしました。これは主に、新倉庫建設等により有形固定資産が224百万円増加したことによるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ99百万円増加の9,166百万円となりました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は2,715百万円となり、前連結会計年度末に比べ227百万円増加いたしました。これは主に、法人税等の納付により未払法人税等が61百万円減少した一方で、新倉庫建設による未払金の増加等によりその他流動負債が295百万円増加したことによるものであります。

固定負債は745百万円となり、前連結会計年度末に比べ52百万円減少いたしました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金の振替により長期借入金が37百万円減少したことによるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末と比べ175百万円増加の3,460百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は5,706百万円となり、前連結会計年度末に比べ75百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益82百万円の計上があったものの、配当の支払いにより利益剰余金が122百万円減少したこと、為替換算調整勘定が35百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想等の将来予測情報に関する説明

2025年5月14日付の2025年3月期通期決算短信で発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,149,267	3,098,395
受取手形及び売掛金	809,413	660,002
電子記録債権	177,201	181,499
商品及び製品	313,323	290,321
仕掛品	90,206	123,641
原材料及び貯蔵品	477,216	443,626
その他	52,311	182,608
貸倒引当金	△1,975	△1,942
流動資産合計	5,066,964	4,978,153
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,071,841	1,968,366
土地	599,172	599,172
その他（純額）	1,582,638	910,166
有形固定資産合計	3,253,652	3,477,705
無形固定資産	27,262	23,353
投資その他の資産	718,768	687,111
固定資産合計	3,999,683	4,188,170
資産合計	9,066,648	9,166,323

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	134,081	165,912
電子記録債務	75,344	70,786
短期借入金	1,500,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	150,000	150,000
未払法人税等	114,136	53,073
賞与引当金	79,840	46,174
その他	433,900	729,083
流動負債合計	2,487,303	2,715,030
固定負債		
長期借入金	375,000	337,500
退職給付に係る負債	46,000	49,049
資産除去債務	66,214	66,376
その他	310,307	292,124
固定負債合計	797,522	745,050
負債合計	3,284,826	3,460,080
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,253,984	1,253,984
資本剰余金	1,153,134	1,153,134
利益剰余金	3,265,071	3,224,675
株主資本合計	5,672,189	5,631,793
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,427	3,465
為替換算調整勘定	106,204	70,983
その他の包括利益累計額合計	109,631	74,448
純資産合計	5,781,821	5,706,242
負債純資産合計	9,066,648	9,166,323

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)		
	前第1四半期 連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	1,241,886	1,219,564
売上原価	694,575	731,891
売上総利益	547,310	487,673
販売費及び一般管理費	340,420	356,598
営業利益	206,889	131,075
営業外収益		
受取利息	156	119
受取配当金	0	1
受取賃貸料	2,809	2,809
持分法による投資利益	29,940	11,757
その他	2,440	195
営業外収益合計	35,346	14,883
営業外費用		
支払利息	7,072	9,784
支払手数料	8,905	747
支払補償費	-	14,634
その他	782	4,335
営業外費用合計	16,760	29,501
経常利益	225,475	116,456
税金等調整前四半期純利益	225,475	116,456
法人税等	62,742	34,174
四半期純利益	162,733	82,282
親会社株主に帰属する四半期純利益	162,733	82,282

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	162,733	82,282
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	100	38
為替換算調整勘定	26,409	△35,221
その他の包括利益合計	26,509	△35,182
四半期包括利益	189,242	47,099
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	189,242	47,099

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法により計算した金額を計上しております。

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	組織培養事業	微生物事業	細胞加工事業	計		
売上高						
外部顧客との契約から 生じる収益	577,735	316,475	347,675	1,241,886	—	1,241,886
外部顧客への売上高	577,735	316,475	347,675	1,241,886	—	1,241,886
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	577,735	316,475	347,675	1,241,886	—	1,241,886
セグメント利益	195,616	11,705	129,344	336,666	△129,776	206,889

(注) 1. セグメント利益の調整額△129,776千円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額(注) 2
	組織培養事業	微生物事業	細胞加工事業	計		
売上高						
外部顧客との契約から 生じる収益	622,922	305,639	291,003	1,219,564	—	1,219,564
外部顧客への売上高	622,922	305,639	291,003	1,219,564	—	1,219,564
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	622,922	305,639	291,003	1,219,564	—	1,219,564
セグメント利益又は 損失(△)	235,041	△44,141	75,767	266,667	△135,592	131,075

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△135,592千円は、各報告セグメントへ配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

当社は、2024年4月25日に東京証券取引所グロース市場に株式を上場いたしました。この上場にあたり、2024年4月24日を払込期日とする有償一般募集（ブックビルディング方式による募集）による新株式発行850,000株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ742,900千円増加しております。

また、2024年5月24日を払込期日とする第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出し）による新株式発行96,600株により、資本金及び資本剰余金がそれぞれ84,428千円増加しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が1,253,984千円、資本剰余金が1,153,134千円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	85,848千円	85,200千円